

白鳥王子アイスアリーナにおける感染拡大防止対策

令和3年9月10日作成

令和3年10月15日修正

公益財団法人苫小牧市スポーツ協会

(1) プレーヤーズベンチ換気対策

スケートリンクの特性として、リンク面から2mくらいまでの高さに空気が滞留する傾向がありプレーヤーズベンチの換気が不十分な可能性があることから以下の換気対策を行う

① 扇風機の設置

プレーヤーズベンチ裏に2台扇風機設置（高さ160cm、上向きに送風）



② 強化ガラスの撤去

密閉空間とならない様、プレーヤーズベンチを囲う強化ガラスを撤去



(2) CO2モニターの設置

プレーヤーズベンチ、選手控室、オフィシャルボックス、ゲームオフィシャル室、レフェリー室にCO2モニターを設置し、換気対策の目安を明確にする

- 800ppm以下……換気が良好な状態。
- 1000ppm以上……換気が良好ではない状態。速やかに換気対策の必要がある。



(3) 選手控室換気対策

① 選手控室の利用人数

- ・ 1部屋の利用人数を15名程度に制限。それ以上のチームは2部屋貸し出を行う

② 選手控室ドアの開放

- ・ 控室ドアについては、常時開放の上利用することを原則とする（女子チームについては、着替えの時間10分程度部屋の扉を閉めること許可します）



(4) オフィシャルボックス・ペナルティーボックス換気対策

① 扇風機の設置（各所1台程度）

- ・ ゲームオフィシャルボックス及び、ペナルティーボックス内に扇風機を設置し空気を循環させる

② 強化ガラスの撤去

- ・ 密閉空間とならない様、ペナルティーボックスを囲う強化ガラスを撤去



(5) 役員室・レフェリー室換気対策

① 役員控室の利用人数

- ・ 1 部屋の利用人数を15名程度に制限
- ・ それ以上の役員がいる際には会議室を別途確保のこと。

② レフェリー室の利用人数

- ・ 1 部屋の利用人数を 4 名に制限。

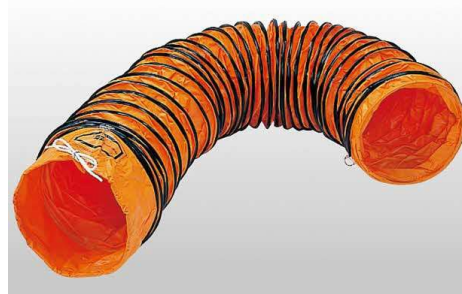
③ 役員室・レフェリー室ドアの開放

- ・ 各室ドアについては、常時開放の上利用することを原則とする。

(6) その他試合開催時の換気対策

① 整氷作業を行う際（インターバル）の対策（約10分間）

- ・ 整氷車出入り口のシャッターを内側、外側両方解放
- ・ 2階観客席の非常口6箇所を開放し外気を取り入れる
- ・ 1階と2階アリーナへ入場する扉を開放し換気する
- ・ 整氷車出入り口扉、選手ベンチ、ペナルティーボックス等リンクに面している扉を解放しリンク内の空気を換気する
- ・ 強力な送風機によりザンボニー出入口から屋外に向かってリンク内の空気を排気する
(10/30, 31のアジアリーグジャパンカップにおいて使用効果を確認し有効と判断した場合、施設へ設置を検討)



② 1階・2階観客席、ロビーの換気

- ・ ロビーの排煙窓及び、館内非常口を開け換気を行う

③ 9/11, 12, 10/2, 3のアジアリーグジャパンカップ4試合における換気対策の結果、アイスリンクの表面温度が上昇し、氷が柔らかい状態になったことを確認している。